

令和7年9月5日

関係機関の長 殿

国立大学法人鳥取大学農学部長
明石欣也 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

下記により、本学部の教員を公募いたしますので、関係各位に周知方よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 公募する職と人数

講師または助教 1名

2. 所 属

生命環境農学科生命環境農学講座 応用昆虫学教育研究分野

3. 応募資格

- (1) 博士の学位を有する者 (着任までに取得見込を含む。)
- (2) 以下のような応用昆虫学分野での研究に関する教育・研究に熱意をもって取り組めること。
 1. 昆虫の生理機能および生態挙動を解明する研究
 2. 昆虫に関する農業技術の研究
 3. 昆虫の生理生態機能等の産業への応用に資する研究
- (3) 鳥取大学農学部教員選考基準 (資料1) を満たしていること。
ただし、助教での採用を希望する場合には、着任までに博士の学位を取得する予定の者も含む。
- (4) 鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻が担当できること (資料2)。
- (5) 全学共通科目・一般教養科目 (生物学) 等を担当できること。
- (6) 教育職員免許状関係授業科目 (生物学実験演習)を担当できること。

※資料1、2は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。
(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

4. 担当授業科目等

(1) 学 部：担当教育コース 農芸化学コース

昆虫科学Ⅰ・Ⅱ，基礎生命科学（分担），化学系基礎実験Ⅰ・Ⅱ（分担），基礎農芸化学演習Ⅰ・Ⅱ（分担），農芸化学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（分担），実践農芸化学英語Ⅰ・Ⅱ（分担），生命環境農学演習Ⅰ・Ⅱ，卒業研究
教育職員免許状関係授業科目（生物学実験演習）、全学共通科目・一般教養科目（生物学）等

(2) 大学院：持続性社会創生科学研究科博士前期課程農学専攻

応用昆虫学特論（分担），生命環境農学特論Ⅲ（生命環境科学）（分担）、農学特別演習Ⅰ・Ⅱ等

5. 契約期間・待遇

(1) 任期を定めない。

(2) 年俸制（本学の定年は65歳です。給与、勤務時間、休日及び保険等については、本学の規程に基づき決定します）

6. 提出書類

- | | |
|----------------------------------|-----|
| (1) 履歴書（記入要項参照） | 1 通 |
| (2) 調査書（記入要項参照） | 1 通 |
| (3) 調査書に挙げた著書、原著論文および総説の別刷（複写も可） | 各1部 |
| (4) 主要研究業績の概要（2,000字程度） | 1部 |
| (5) 教育研究に対する抱負（1,200字程度） | 1部 |
| (6) 推薦者がある場合は推薦書 | 1通 |
| (7) 学位記の写し又は学位取得（見込）証明書 | 1通 |
| 2026年3月に学位取得予定の者は指導教員の所見 | 1通 |

※記入要項は農学部ホームページの教員公募にあるファイルをダウンロードして下さい。
(<https://muses.muses.tottori-u.ac.jp/recruit/>)

7. 応募締め切り

令和7年11月14日（金） 必着

8. 選考方法

書類選考の後、最終候補者にプレゼンテーションと面接を行います。なお、面接等に伴う旅費・宿泊費等は各自で負担をお願いいたします。

9. 採用予定年月日

令和8年4月1日

10. 書類送付先及び問い合わせ先

〒680-8553

鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部生命環境農学科生命環境農学講座

応用昆虫学教育研究分野教員 予備選考委員長 一柳 剛

電話：0857-31-6732

E-mail：yanagi@tottori-u.ac.jp

封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留等でお送り下さい。

10. その他

鳥取大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を歓迎します。また、鳥取大学及び鳥取県は家族を大切に、働きやすい環境づくりを進めています。

- ・鳥取大学ダイバーシティキャンパス推進室

URL： <https://www.tottori-u.ac.jp/diversity/>

- ・鳥取大学医学部附属病院ワークライフバランス支援センター

URL： <https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/worklife/>

- ・鳥取県の「子育て王国とっとり」

URL： <https://www.kosodate-ohkoku-tottori.net/>

付記)

1. 農学部生命環境農学科には教員組織として生命環境農学講座があり、学科の教育コースとして里地里山環境管理学コース、国際乾燥地農学コース、植物菌類生産科学コース、農芸化学コースの4つのコースがあります。

農芸化学コースは次の教育目的と教育目標を掲げています。

【教育目的】

化学と生物学、微生物・植物・動物の基礎から応用までを幅広く学び、生物資源や食品、環境などに関連した様々な知識と技術を有した人材を養成します。

【教育目標】

- (1) 生化学・分析化学・食品科学・生物学に関わる「化学」と「生物学」両方の基礎的専門知識と技術を学んだ視野の広い人材を育成します。
 - (2) 微生物、植物、食品などに関係した多岐にわたる基礎・応用実験を通じて、実践力と課題探求能力、研究開発能力を養成します。
 - (3) 講義で学んだ知識と実験・演習で獲得した技術を統合して、新たな発見や問題解決へ向けた独創的な思考力を養います。
2. 将来的にカリキュラム・教育コースを再編した場合は、担当講義・担当教育コースが変更となる場合があります。
 3. 本学科の教員は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科、山口大学大学院創成科学研究科のそれぞれの博士前期課程(修士課程)を基盤として編成される鳥取大学大学院連合農学研究科において、博士後期課程(博士課程)の教育・研究指導も担当しています。

以上